



Title	国民社会の研究 第4巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1959-04-20
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77635">http://hdl.handle.net/2115/77635</a>
Type	manuscript
Note	『鈴木栄太郎著作集7(国民社会学原理ノート)』を出版した際のソースとなった原稿である(同書内での言及による)。
File Information	1007_014.pdf



[Instructions for use](#)

7

# Superior Note Book

國民社會の研究  
第四卷

昭和十一年三月十日

TOKYO B.B.B.



A  
4

4

〇市民社会に於ける三つの発達と都市  
 市や都市への影響と都市文化の混同  
 〇市民社会に於ける宣傳の意義  
 〇市民社会に於ける政治の意義  
 〇市民社会に於ける経済の意義  
 〇市民社会に於ける文化の意義  
 〇市民社会に於ける教育の意義  
 〇市民社会に於ける娯楽の意義  
 〇市民社会に於ける宗教の意義  
 〇市民社会に於ける科学の意義  
 〇市民社会に於ける芸術の意義  
 〇市民社会に於けるスポーツの意義  
 〇市民社会に於けるボランティアの意義  
 〇市民社会に於ける市民参加の意義  
 〇市民社会に於ける市民意識の意義  
 〇市民社会に於ける市民責任の意義  
 〇市民社会に於ける市民権の意義  
 〇市民社会に於ける市民義務の意義  
 〇市民社会に於ける市民自由の意義  
 〇市民社会に於ける市民平等の意義  
 〇市民社会に於ける市民正義の意義  
 〇市民社会に於ける市民誠実の意義  
 〇市民社会に於ける市民勇敢の意義  
 〇市民社会に於ける市民忍耐の意義  
 〇市民社会に於ける市民謙遜の意義  
 〇市民社会に於ける市民礼儀の意義  
 〇市民社会に於ける市民節制の意義  
 〇市民社会に於ける市民克己の意義  
 〇市民社会に於ける市民忍耐の意義  
 〇市民社会に於ける市民謙遜の意義  
 〇市民社会に於ける市民礼儀の意義  
 〇市民社会に於ける市民節制の意義  
 〇市民社会に於ける市民克己の意義

959939-3/24282624222019/411

5-4-3-2-1

化者(口)民  
の混市(分)を  
判(学)に  
別(あ)け  
の(ま)す  
影(こ)の  
響(ま)る  
と(ま)ち  
替(あ)る  
る(ま)ち

口氏記  
内  
不  
口  
宣  
仲  
元  
告

2

口

かかへるふしはけしもの

又及不事之、高野山、新著小説

凡指音、文化、歌謡曲、見便、新著小説

人、氣、流、行、歌謡曲、見便、新著小説

受け、ゆ、形、成、ス、水、群、集、あ

、その場の口、集、海、新著小説

ハ、都市の街、上、口、集、海、新著小説

一、座、的、集、あ

口良加勤子かけの  
 百婚人勤子かけの  
 米野初  
 砂川子  
 勤評子  
 職崇化志  
 陳状周志  
 隆北野  
 投西石

口は元々の時々の因一階を保たしをま

一 近代的な大戦場 近代的 官舎元

一 近世代的な大戦場 近世的 官舎元

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 戦場の記号 戦場の記号 左官の

一 大地の起伏 水路流域

一 大地の起伏 水路流域

一 東洋の気候 東洋の気候 新南駅、東

一 東洋の気候 東洋の気候 新南駅、東



口民の生活の一元化をせたりする。経済的  
交流の中心地

一、交通の要路

一、教育の要路

一、大工業の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、大銀行の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、大工業の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、大銀行の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、大工業の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、大銀行の要路  
大正時代の要路  
金の要路

一、国境を調査する

一、口内特産物の調査  
口内特産物の調査  
口内特産物の調査

一、口内特産物の調査  
口内特産物の調査  
口内特産物の調査

- 一、出向の行政機関所在地図を以て被験者  
出向の行政機関所在地図を以て被験者
- 一、大学の所在地表第1高松中専科の所在地  
一、各に1より東京
- 一、テレビ全日流布の非同、5、4、1、同上一  
一、一つの大学が創設するの広告及び  
一、野資機同（的系）取巻し 一、傷
- 一、全日の子ハト学業の内容の同（院）第1子傷  
一、Vネソクが創設の内容の同（院）第1子傷
- 一、日経婚費総は九州の1行に1行とんを以て指導  
一、それ元か調査



桑江に於ては一般階級は同一市町村の信託  
 可なり在り地帯に於ては同一市町村の信託  
 は地方自治の都市に於ては同一市町村の信託  
 生活の圏を以てしてある。今日では人口の  
 増加と共に生活の圏は更に拡大して居る。

生活の圏は交通發達の上には其來て居るの  
 生活の圏は交通發達の上には其來て居るの  
 在りしより更に都市圏を以てして居る。

社会階級は同一市町村の信託と云  
 ふものである。

生活地帯は同一市町村の信託と云  
 うものである。

大都市圏の都市の中心部に於ては同一市町村の信託  
 同様の形式を以てして居る。

都市には社会地帯は有しない。

# 大都市住民の錯覚

大都市住民はその日々の生活に出来  
上つた高層のみを見よ。彼等の生活<sup>が</sup>どんな  
に豊かや山村や山村や深山からの給付  
援助によつて富たせられたかを見ればよ。  
土臭い人の援助や臭臭い人の助力は前  
世多の多幸の人の様を思ふ。大都市  
まで土臭いものか運ばれればよいと  
近頃の厚産地の臭味はすつかりかえつ  
た。大都市の人は彼等文で互傍麗  
好才の生活か出来て片かのかの様に思ひの  
た。生産地との同率や地方村の  
人達との同率かえりか勝つてあ

。一、秋田秋に東子に奉りてまた半歳に  
あゝか、田舎との関係を忘れかちになつた。  
巨大な都市であるはあゝ、又それより  
多岐の田舎者の世話によつて生か  
すも片、し又田舎者に毎日迷惑  
しかけつた。冬用の支配感  
格取は都市の常規指針に  
中々都市文が田舎に直結して片と  
して、しとよ都市研究を志すか多。  
中々都市の原理以外に何の財源  
の原理も巨大都市にあるか。

# 地方都市の地方支配の減退

嘗て封建時代には一口の領主の城下町は  
その一口町を行政的・文化的にも支配し  
居民はその一口町より外裔に出ようが  
出来ず、その町にしばらく居られれば  
その町に職業と技能が継承され、たの  
で甚么とも生活の自由を知らず、たの  
可定としてその地方の町に都市支配下  
にある場合も、行政的・文化的に生  
活の依存関係において然り、都市的に  
娯樂的に然り、やがてはマスコミの関  
係において甚しく然り。

生活依存性には生活圏の関心において  
口内中央都市に直結する。場合々々  
り、中央都市が地方の町村に直結  
する。場合々々々々々々々々々々々  
関心は、地方の町に直結する。場合  
々々々々々々々々々々々々々々々々々

楳野義弘の著作として

口民の一人一人が口の中へは舌を突き出し  
その近代政治の考へるべき漸進的  
方向  
シつ、である。  
# 現実的では

家族の権威が崩れ、  
権威が崩れ、  
の保護を必要とする。  
法その見地はよく  
如きは



口民記念の

社会情勢

他及他人と  
方々の内の人等が形成してゆく

口民 其其の同様に 存在する （東京） 口民記念の

（東京） 口民記念の

同然も （東京） 口民記念の

（東京） 口民記念の

是れ累積して居る。

他の口民と異なる国体を保つては

殆どあり。

口民の他への如何なる運動も社会同好

も亦亦の統一と皆口民記念の権威

に有するものとあらずば口民記念が其

が強力な存在の統一である。予てを

時々の何れも其の存在するべきである。

第一に口民記念の国体より其の権威の

生活圏に於ては、第一生活圏も亦二

生活圏も亦二生活圏地帯、其の居るべき

都市にあるべきである。其の村落は

亦二生活圏地帯に存在するべきである。

亦二生活圏地帯は附近の都

16

市にある。少くとも五ヶ年生活地区は  
中お都市である。

その構造において都市では同一団  
体と職場を基下組織を形成  
する。二つの支柱的集団である。

村落では生活の場  
村落では生活の場

生活協同作用をたしなむ。中核下は  
生活活動と一般生活活動の分化

す。生活の場として娯楽の場  
娯楽の場

と協力があまらぬ。未分化の協力が  
未分化の協力が

係下あつた家族の連合係下あつた。  
係下あつた家族の連合係下あつた。

は家庭の連合係下あつた。生活協力が  
は家庭の連合係下あつた。生活協力が

係下あつた。生活協力が  
係下あつた。生活協力が

係下あつた。生活協力が  
係下あつた。生活協力が

係下あつた。生活協力が  
係下あつた。生活協力が

による連合の形式がたゞの同型である  
たのみにて、協同体は地域別  
の協同体である。

と云ふより大なる意味が

明治以来の社会主義の自由主義化  
の波のつゞき、色々の機能的な集團  
が成立し、その為、地域別に在りて  
古くからの村落協同体は漸次  
弱く、かうすくたゞ、又他人を  
自由にするに協同体のものは、自ら  
の利益を欠けず、また他人を

階  
級  
と  
口  
宗

19

口  
民  
と  
階  
級  
の  
お  
け  
階  
層  
構  
造

1. パンナム、イシロ、パシフィック  
2. 北米国併地区

□ 北米国併地区の北米国併

北米国併の内容

類目的別 (弘教年例)  
類編別 (北極年例)

職或世治厚は昔は宗教職年例  
職或世治厚は昔は宗教職年例

北米国併の流れ

1. 北の中心から  
2. 南の中心から

口民の行動を監督し、整理する大法律規  
増設  
違法を處分する為の司法制を軍隊

### 統治監察の内容

地域的に全口監督の為の組織的区分  
道府縣市町村の制  
生活の様態別区分と組織的監督  
各省別大臣と其配下組織の完備  
其の統治網の外に存する生活体系は  
何か。果してあるか。口民の國のよむかぬを  
活体系は有しあるのよむかぬか。

市町村連合会  
道府縣郡の統一體としての中心都市

才一生活地区様図  
 才二生活地区様図  
 才三生活地区様図

才一生活地区様図

才二生活地区様図

才三生活地区様図

九  
 概  
 別

日産産業の地域的構造

- 一、原料生産地  
 林産、炭、銅、酪の生産地、その販賣機關の地域的分布 (都部別)
- 一、生活必需品の生産地  
 必需加工品の様図  
 穀物、食料、医薬、建築業者 (大工、左官、瓦葺、瓦、薬、ポスト)
- 一、必需品製造工場への地域的分布  
 菓子、嗜好品、醤油、酒、塩、衣料、雑貨、豆腐、烟草、紙、魚、肉、皮革、ガラス、繊維、化学工業
- 一、高級生活必需品の工業用資材製造工場  
 の立地とその販賣機關の立地
- 一、高級生活必需品の立地とその供給機關の立地  
 一、輸入品 (輸入品)



口良社会の社会構造  
一 社会法と共同生活体



こそ入るこも悪いよはなへ、ニ此は社  
会主義の可能な唯一の社会  
である。民権論者といふこの外へ  
ある。その中の何れか  
は色々の職業を信じて居るが、  
然し都市は断じて身軽の社  
会にはない。

昔おんおけい果園を構成するは  
地域性のみである。故に全うは地  
域の業績の同士の中心をその社  
会の好望の所出にすべきである。

都第一は乙豪人の経済によれば  
伊弉國の中世帯と職域の二つが  
基礎的、他は余暇的であること  
なりと云ふ事なり。

○長祿令は伊弉國支配の体制である  
から支配被支配の關係が社会構造の  
中心にあることを示した。伊弉國  
の社会階層を知らずか云々は  
前も述べた通り、各職域における主要  
的支配被支配的 ~~な~~ 構造の  
知性か、口長祿令の社会構造を  
考察するべきである。